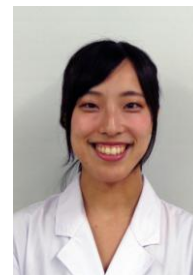


呼吸器内科 和歌山病院 感想文



井上 栄美

今回、和歌山県立医科大学呼吸器内科実習のうち2日間、和歌山病院で実習させて頂きました。

結核セミナーでは、これまで授業で結核について学んできましたが、自分が必要以上に結核に対する恐怖心を感じていたことが分かりました。結核の病態や感染経路の理解、正しい予防を行うことで決して感染することのない疾患であるということ学びました。また、実際の胸部レントゲンやCTを提示していただき、問題形式で疾患を考えるセミナーもあり、今までの知識をさらに深めるいい機会となりました。さらに、和歌山県内唯一の結核病棟に入り、病棟内の換気経路、マスクの着用など、実際の医療現場での工夫を見学させていただきました。

胸部Xpセミナーでは、これまでの実習でのレントゲンを自分がいかに曖昧に見ていたかということを知ることが出来ました。「なぜ曖昧なのか、なぜ苦手意識を持つのか。それは正常な胸部レントゲンの見方を知らないからです。」という病院長のお言葉ではっとさせられました。そして、正常な胸部Xpの見方を教えていただきました。今後の実習では、このセミナーで学んだ知識を活かし、画像所見をとっていきたいと考えています。

2日間という短い期間ではありましたが、和歌山病院での実習で得られたものは多く、とても充実していました。

最後に、お世話になりました、南方先生、駿田先生、小野先生、対応して下さったスタッフの皆様に深く御礼申し上げます。